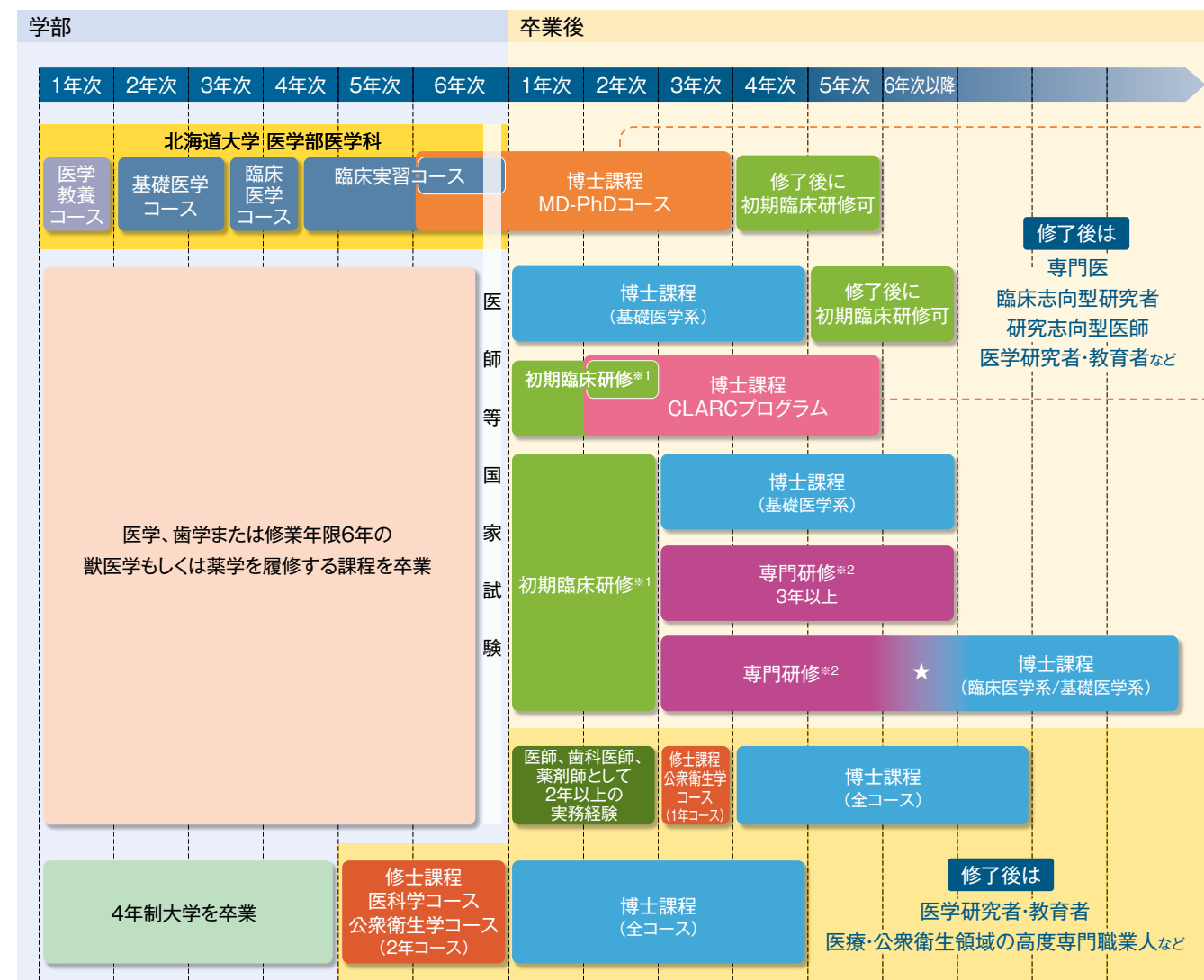


博士課程の概要

プログラム紹介

医学科生が選択できるプログラム「研究者養成プログラム(MD-PhDコース)」「CLARCプログラム」を紹介します。
いずれも、博士課程の履修を一步早く始められるプログラムです。

履修モデル



※1 初期臨床研修を修了していなければ診療に従事することはできません(医師法第16条)

※2 新専門医制度(平成30年4月開始)による専門研修専攻例。研修の期間・内容は、基本領域(内科や外科など19領域)ごとに定められた専門研修プログラムにより異なります。専門医になるためには専門研修を修了する必要があります

★ 専門研修最終年に博士課程の履修を開始する例



北海道大学病院

一步
早く

基礎研究者へ

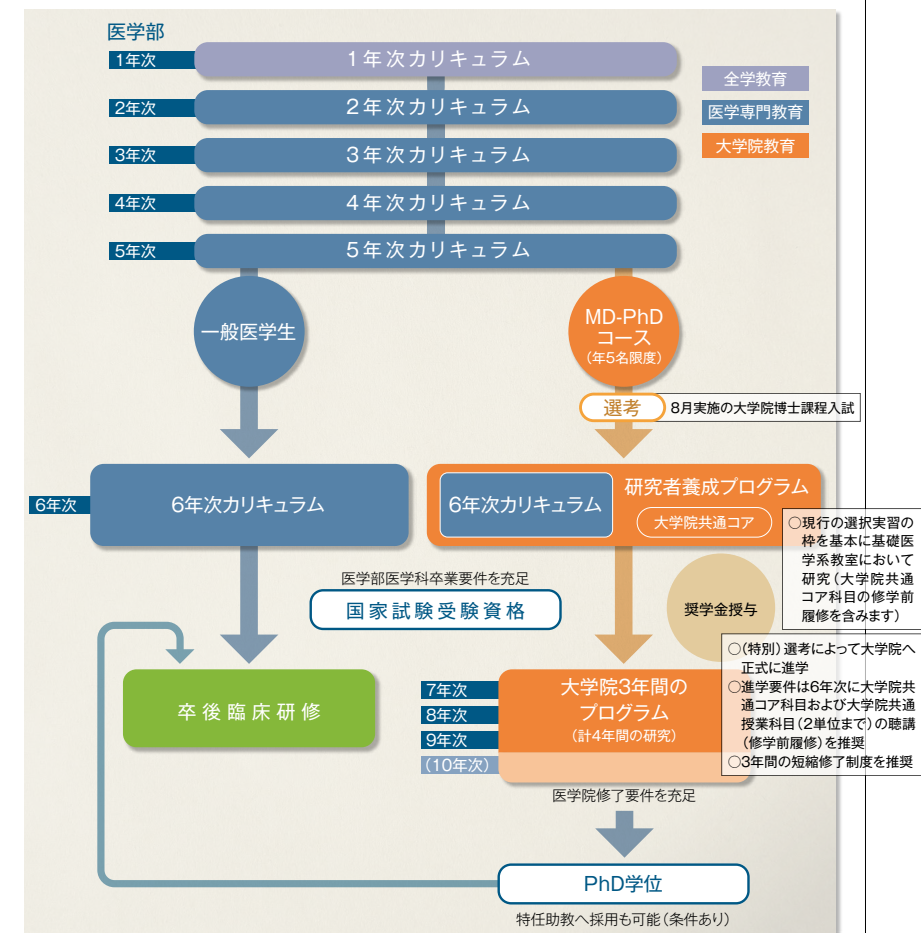
北海道大学医学部医学科生対象

研究者養成プログラム (MD-PhDコース)

医学研究を志向する医学科生に対し、早期に研究の機会にふれ、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者(基礎医学分野)を養成することを目的としたこのコースは、**医学科6年次**に在籍してそのカリキュラムを履修しながら、**大学院博士課程必修科目(共通コア科目8単位)および大学院共通授業科目(2単位まで)**を履修することができます。医学科5年次・6年次に(特別)選考が実施され、原則として返還の必要のない奨学金(大学院博士課程の入学検定料、入学料および大学院入学後計3年間の授業料相当分、所属教室には6年次の履修に係る経費の助成を目的とした支援金)が給付されます。

特徴

- 医学部卒業年度は同期生と一緒に(医師国家試験受験可能)
- 入学料・授業料相当分の奨学金給付
- PhD取得後、卒後臨床研修も可能
- 優れた研究実績をあげた方を、特任助教に採用(条件あり)



一步
早く

臨床志向型研究者へ

一步
早く

研究志向型医師へ

初期臨床研修医対象

CLARCプログラム CLinic And Research Combination

CLARCプログラムは、**臨床研修2年目**に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラムです。

あくまでも臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。

このプログラムを選択するためには北海道大学病院の卒後研修プログラムのうち、2年目に北海道大学病院に在籍する研修コースを選択します。地域医療など大学病院外で研修する期間は一時大学院での履修を中断できるので、安心して研修に従事できます(※なお、研修科との調整が必要となります)。また、基礎系教室の教員も指導教員として選択できます。

